



「ストップ・ザ・無縁社会」
広がれ! 全県キャンペーン
<http://stop-muen.jp>



「尾木ママ」の愛称で親しまれ、多数の情報・バラエティ・教養番組でも活躍中

尾木 直樹氏が「無縁社会」を語る!!

参加
無料

子どもの貧困や社会的孤立が課題となる中、「本当の豊かさ」や「地域共生社会の実現」がテーマとなっています。そこで、みんなで「支え合い社会」を考える場として県民フォーラムを開催します。

日時 平成29年8月29日(火) 13:00~16:30

会場 神戸芸術センター 芸術劇場

対象 キャンペーンの趣旨に賛同する方 **定員** 800人

- 内容**
- パネルディスカッション
「“ほっとかへん”を合言葉に、できること」
 - 記念講演「地域でつながり、支え合う」
講師:尾木 直樹氏(教育評論家)



コミュニティカフェ紹介

自治会主催のコミュニティカフェ「いっぷく邸」(伊丹市)

伊丹市の寺本東自治会は、昨年5月、誰でも気軽に立ち寄り交流できる地域の居場所として「いっぷく邸」をスタート。集会所で、毎月2回、第2・第4火曜日の10時から12時までオープンし、1年が経過した現在では毎回、高齢者ら約30名が訪れ会話を楽しむ。コーヒー1杯50円(お菓子付き)。

「私、一人暮らしなの。今日が初めての参加で朝から緊張していたのよ。普段、会話することも少ないから、みんなと自然に話ができうれしかった。次も楽しみだわ」(70代女性)

「30年以上もすぐ近くに住んでいる男性と、初めて話をした。すると、お互いの趣味が囲碁・将棋だと分かり、すぐに打ち解けた。日常でも声を掛けやすくなるね」(70代男性)

このように、「いっぷく邸」は住民同士の出会いとつながりづくりの場になることはもちろんのこと、「運営する住民も月1回はボランティアの世話役で、もう1回は参加者になるなど、自然とみんなが役割を持ってい

る」、「顔を見なかったり、体調が気になる方には訪問して声を掛ける」など、住民による主体的な見守り・支え合いの輪が広がる機会にもなっている。

今後について、自治会長の神田氏は「今の月2回のペースがちょうど良い。参加者も忘れにくいし、活動者も負担が少ない。地域の支え合い活動だから、枠にはめずに未永く続けていきたい」と笑顔で締めくくった。



「コミュニティカフェ開設応援事業」の助成金を活用し、コーヒーメーカーやカップ、電子レンジなどの備品を購入しました